



薄茶を点てる様子



墨絵体験コーナー

11月17日から19日までの3日間、「第13回うるま市総合文化祭 展示の部」が生涯学習文化振興センターゆらてくで開催されました。
書道や盆栽、絵画、写真などの展示のほか、墨絵や陶芸の体験コーナーや薄茶も振る舞うコーナーなどもあり、多くの来場者が訪れました。

11/17-19

うるま市総合文化祭 展示の部 開催



【パネルディスカッションの様子】



【取り組み事例発表の様子】

11/22

第1回うるま市市民協働学校フォーラム開催

「地域とともにある学校づくり」への理解と周知を進めるため、同フォーラムが市民芸術劇場で開催されました。今年度よりコミュニティ・スクール制を先行導入している市内5小中学校の取り組み事例の発表や、講演会などが行われました。

「市民協働学校（コミュニティ・スクール）」とは、学校と保護者や地域の方が知恵を出し合って、学校運営に意見を反映させることで子どもたちの豊かな成長を支え、地域とともにある学校づくりを進める仕組みのことです。
市では、平成32年度までに、市内全小中学校での市民協働学校（コミュニティ・スクール）実施に向け計画を進めています。



県知事賞

壁新聞の部 銘対 果子(赤道小5年)

個人新聞の部 銘対 歩夢叶(同小4年)

琉球新報社長賞

壁新聞の部 呉屋 優歌(同小4年)

県学びをつくる研究会会長賞

壁新聞の部 我如古 渉香(同小4年)

個人新聞の部 新納 悠斗(同小4年)

児童生徒の調べる力や表現力向上などを目的とした「第12回琉球新報学校新聞コンクール」において、赤道小中学校の児童らが育長へ報告を行いました。

12/7

学校新聞コンクール 赤道小「県知事賞」含む 多数入賞



ジャガイモの植え付け体験を行う園児たち



市農業委員会「JA青壮年部」では、農業委員の見える化運動「食育活動」の環として、豊原保育所とまどか保育園の園児らを招き、農地でジャガイモの植え付け体験を行いました。今回植え付けたジャガイモは2月に収穫する予定です。

11/21

大地の恵みに感謝しよう！ ジャガイモ植え付け体験



【受賞報告に訪れた関係者の皆さま】

3R運動

- ・リデュースのR
ゴミを出さない
- ・リユースのR
繰り返し使おう
- ・リサイクルのR
資源として活かそう

循環型社会形成の推進に大きく寄与したとされ、3R活動優良企業として「株バ イオマス再資源化センター」、3R活動推進功勞(団体)として「うるま市女性連合会」が同賞を受賞しました。

11/17

環境大臣表彰受賞 (株)バイオマス再資源化センター うるま市女性連合会



感謝状を手にする高安氏(左)と教育長



ぬちまーすを使用した給食メニュー

また、川崎小学校の3年2組の児童から「感謝の気持ちを持って毎日、給食を残さず食べます。」との感謝状が、教育長より高安氏に手渡されました。



高安正勝氏(同社代表取締役)をはじめ、同社の社員の方々を招待し、ぬちまーすを使用した給食メニューが振舞われました。
高安氏は、「うるま市の子どもの健康と頭脳明晰に貢献できると思い、自信を持って提供しています。今後も続けていきたい。」と述べました。

12/4

「ぬちまーす」を約7年間 無償提供日頃の感謝を込めて 『感謝給食会』を開催

「世界一ミネラルの多い塩」としてギネス認定を受けた「ぬちまーす(塩)」を、うるま市の児童生徒へ無償で提供している「(株)ぬちまーす」への感謝を込め「感謝給食会」(市給食センター主催)が、ぬちまーす本社にて行われました。

同社は、市給食センターに対し、平成22年9月から毎月100kg、平成27年4月から現在に至るまで、毎月150kgの「ぬちまーす」を無償で提供しています。